

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

magazine kobekko

december 1966

no, 68

12



RKOISO

神戸っ子 昭和四十一年一月二十日第三種郵便物認可 昭和四十一年十一月十五日印刷 通巻六十八号 昭和四十一年十一月十五日発行 毎月一回十五日発行

そのうるおいのある

神秘的な光沢は見るだけで

人の心をゆたかにします

ながいあいだ

貝のいのちがいつくしみ

育てあげた

海の宝石

ミキモトパール

だからです



 御木本真珠店

神戸店 = 三ノ宮・神戸国際会館

TEL. 22-0062

大阪支店 = 堂島・新大ビル

TEL. 363-0247

京都 = ミキモトパール京都(新門前通り)

都ホテル・京都ホテル・京都国際ホテル

阪神百貨店・高島屋・松坂屋

★本店 = 東京・銀座

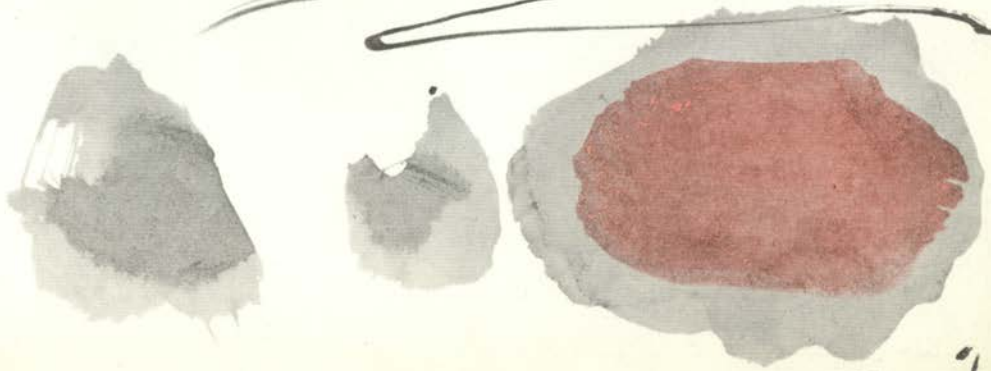
PB-3137・3211・3330

©1966-12



これは神戸を愛する人々の手帖です

あなたのくらしに
楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人には
やさしい道しるべ
これは神戸っ子の
心の手帖です

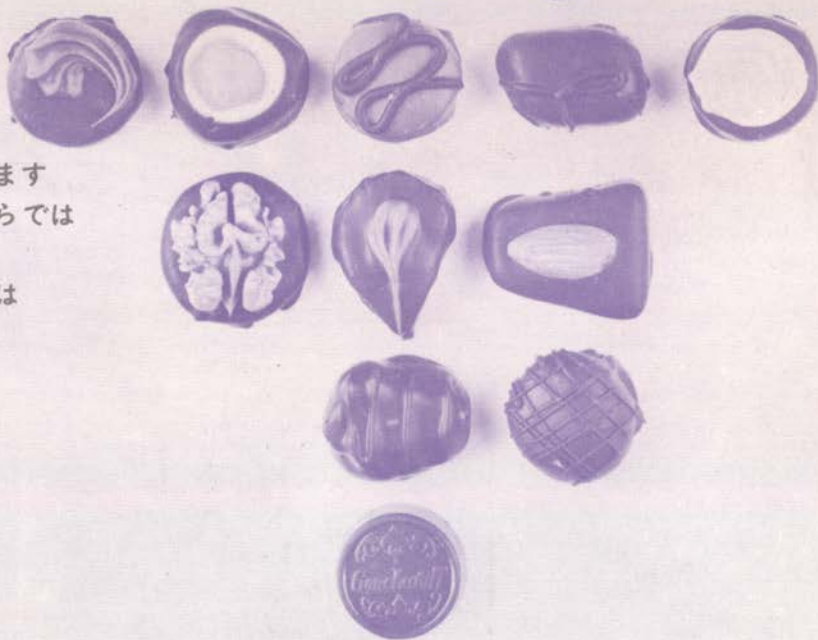


絵・津高一

w. T. Takahashi



<ゴンチャロフ> は
 ファンシーチョコレートの名門
 そのすばらしい風味は
 キャンデーと共に
 広く内外人の〈通〉に喜ばれています
 あなたも
 クリスマスプレゼントやパーティには
 ぜひゴンチャロフ製品をお選び下さい
 本格派の
 製造技術がつくりだす
 ゴンチャロフ製品なら
 どれほど〈味〉にきびしい
 お方にでもご満足いただけます
 クリスマスがやって来てからでは
 おそすぎます
 ゴンチャロフ製品のお求めは
 お早めどうぞ……



チョコレート*キャンデー

ゴンチャロフ

神戸市生田区加納町4の1

神戸っ子 アングル

重満邦子

（昭和42年度代表ミス神戸）
撮影／春田佳章

栄光教会の尖塔の十字架が月の光に白いクリスマススイブ。キャン
ドルを手にした重満さんの瞳が清らかだ。

重満邦子さん（22）は十一月二十一日みなと祭で選ばれた代表ミス
神戸。今春甲南大学文学部を卒業したお嬢さんである。

今も須磨離宮道の住いだが、浜育ちの彼女は海が好きだ。海への
あこがれはヨットの帆に結ばれて、大学時代はヨット部に入ったそ
うだ。

「陸の上は何かややこしい感じでしょう。海はいいワ。海は大らか
で、のんびりしていて、いやなことは皆忘れてしまいますもの。テニ
スも好きな彼女は九月頃迄、真黒に、太陽に愛されていたそうであ
る。また米文学専攻の彼女は、西部の開拓時代の女性を多くあつか
った女流作家、ウイラー・キザーがお気に入り。「自然への愛情がの
びのびと描かれており、明るくて陽気でバイタリテイのある女性
が多く登場するのに心魅かれて……」と。絵画・ピアノをたしなみ二
人姉妹の長女。静かなものごしの清楚な須磨美人である。来年五月
の開港百年祭には美しいポートホステスとして大いに活躍されるこ
とだろう。

（栄光教会前にて）



確信をもって
タジマの目を選んだ
世界の宝石の名品！



Tajima

*** 宝飾店 **タジマ** 元町2・TEL ☎ 0387・2552

当店でお買上げのダイヤ指輪は販売価格で引取り交換をお約束しております。

神戸っ子 アングル

小島 鉄治

滋 美

撮影／春田佳章
〈プロダンスメタリスト〉



ラテンミュージックの激しい流れのなかを、ドラマチックにめりはりのきいた美しいフォームで踊る小島夫妻。フロアーいっぱいには華やかな花が開いてゆく。

御影に住む小島鉄治(39)、滋美(34)夫妻は生粋の神戸っ子。一九六三年に全日本選手権のモダンの部で初優勝以来、今年の五月ベルリンでの世界選手権ラテン四位、モダン六位という、世界的な輝やかしい栄冠を獲得した。六月には、本場英国でレオン・スクリアナー、ビン・アービンなどの教えをうけて帰国。全日本選手権でラテン優勝、モダン三位とその活躍はめざましい。

「宮廷舞踏の歴史から受けつがれているソシャールダンスは、今パレーの影響をうけて、美しいラインを見せることにポイントが活かれています。私たちも美しいラインを求めて、可能性をどこまで発揮させることができるか。またお客さまがみて、ロマンチックな舞を求めています。私たちが思っていますね。三年後の一九六九年には東京武道館でダンスのオリシピックでもある世界選手権大会(25カ国 加)が開かれるので、ぜひ若い人にアピールさせたい」と熱をこめて話す小島夫妻は、「私たちは、神戸から絶対離れたい」としても好きな神戸にちやんとしたホールがないので……と残念そうだった。

〈甲南文化学院ホールにて〉

Pearls by Tasaki



Tasaki logo (stylized 'T' and 'P' with a dot).

聖らかなクリスマス之夜に
優雅な輝きをそえ

あなたをつつむタサキパール

田崎真珠

三宮店・神戸新聞会館秀品店内
本社・神戸市葦合区旗塚通6-9

神は我がやぐら
我が強き盾
苦しめるも心の
近き助けぞ……

神戸市生田区にある神戸商業光
会には、うもまた美しい讃美歌
が聞えてくる。日曜日ごとの礼拝
で白いカウチを付けてうたうメ
ンバーのみなさまによる信仰の証を
する姿が何よりも美しい。
聖歌隊のメンバーは30名。キ
リッパの良さはサンパ
ワッといわれている。

並列真並列左から
黒田千恵 (家事) 高宮敏恵
(主婦) 安井紀子 (聖和女
子大生) 横井幸子 (コー
ス商會勤務) 市川雅子
(シベリヤへブチン商會)

あるつとい
神戸栄光教会
聖歌隊

勤務) 曾本留子 (大倉石
油大販賣所勤務) 松村翠
智子 (大社勤報同教會) 柴
田美代子 (六本木女子病院業副師)
田中列左から
黒田千代 (バラテックウストレ
イアーズ・タカシハニー勤務)
堀見悦子 (タカシハニー日本神助
後) 池内光宏 (追手門学院教師)
沢田貞樹 (桃山学院大3回生)
周芳美 (家事) 福本留子 (家事)
楠宮雅代 (ドラドラム商會勤務)
並列左から
北出新一郎 (服部眼鏡店) 高宮隆俊
(神戸医大第一内科医師) 棟方晃之
(同志社大学院) 平野康之 (光原生業)
坂本一男 (近畿電気通信局勤務)
右端がリーダー清水泰博 (清水真生所)
生田区栄光教會で





しなやかな牛皮の心よさが憎いと
ヨシオカの技術に神戸紳士の
信頼がよせられています

靴のオーダーメイド

ヨシオカ

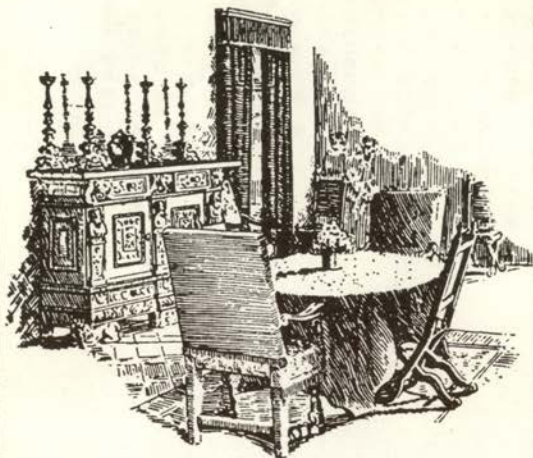
大丸前 TEL <33> 5190・9763

12

月号目次

- 1 Second Cover / 津高和一
- 3 グラビヤ / 神戸っ子アンクル / 撮影・春田佳章
重満邦子 / 小島鉄治・滋実
- 7 ある集い / 神戸栄光教会聖歌隊
わたしの意見 / 一谷定之丞
- 11 随想三題 / 丘の上のモミの木 / 赤根待帆
コトバなんて何だ / 織田正吉
- 12 ソビエトみたまま / 戸塚 敏
ある集いその足あと / 高宮隆俊
- 16 随想 / ガス灯へのあこがれ・稲垣足穂
随想 / 空想に生きる・杉山平一
- 19 随想 / 神戸と音楽・吉村一夫
- 21 随想 / 神戸経済座談会 / 直木太一郎・小泉徳一
小野一夫・柏井健一
- 27 経済ポケットジャーナル・KOBEE オフィスレディ
神戸ドキュメント最終回 / 北野町・有井基
神戸の集いから
- 33 CINEMA / 淀川長治
- 39 KOBES SHIP LOUNGE / 文・玉泉章
動物園飼育日記 / 亀井一成
- 42 れんさいマンガ / ベッコ / 永井文明
- 44 マドモアゼル神戸 / 福富芳美
- 50 髪 / 西野明
- 54 グラビヤ特集 / 中山手カトリック教会
- 68 グラビヤ特集 / 神戸とサルトル / 白井浩司
座談会 / 世界と神戸
- 75 三木啓司・佐藤昭年・吉田悦子・浅木幸雄
- 72 CHRISTMAS in KOBE
- 85 INCOHERENT
- 88 神戸遊戯誌 / ダンス / 青木重雄
- 92 神戸うまいもん巡礼 51 / 赤尾兜子
- 94 ポケットジャーナル
- 96 神戸っ子ひろば
- 101 異人館物語 / 連載第三話・小泉八雲と神戸 / 小山牧子
- 102 連載小説第十回 / 兵庫の女・武田繁太郎
- 112 PHOTO POEM / 詩 / 君本昌久・カメラ / 緒方しげを
- 117 銘店抄 / 末積銀額・一富士 / 陣野臣
- 120 表紙 / 小磯良平・カメラ / 米田定藏・赤松慶三郎
レイアウト・カット / 港野千穂





KG-HG-0018

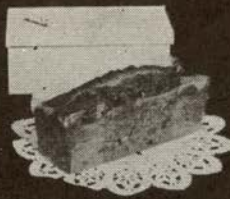
この番号は11月1日より当社製品
(ダンス・テーブル・イス)につけ
られた通産省承認の品質表示番号
です。

百貨店その他の店舗ではこの番号
の家具はございませんから、類似
品にご注意ください。

家 具
婚 礼 調 度 品
室 内 装 飾 品
お あ つ ら え

永田良介商店

神戸大丸前 TEL (9) 3737~3739



を 子
き 菓
の ツ の
と ー の
いとるイ統
憩ひ飾ド伝風

バウム・クーヘン
ビスケット
キングケーキ
フランクフルター・クラッツ



ドイツ菓子

Fuchheim's

ユ-ハイム

本 店 神戸三宮生田神社前
TEL (33) 1694-8064
三 宮 店 神戸大丸前市電筋
TEL (33) 2101 (39) 3808
さんちか店 三宮地下街スイーツタウン
TEL (39) 3 5 3 9

東京/銀座店・渋谷店 その他全国有名百貨店

<わたしの意見>

文化施策によって
人間性の回復を



一谷定之丞

<兵庫県教育長>

財団法人兵庫県社会文化協会の設立、その寄付行為の趣意書が発表されましたが……。

「兵庫県の教育委員会のなかに、今年初めて文化課が出来ました。本県の教育は『三つのコンビ、一つの広場』を基本スローガンにして、家庭、学校、社会それぞれ教育の場を通じて、総合的な、教育水準を向上させようと努力しています。最近、経済の急速な発展にとともに、社会生活の機械化、オートメ化の傾向が激化しています。そして人間の楽しみがレジャー的なものやパチンコ・マーチャンなど、一脱線すれば悪の道につながる方面に求められています。このために先人の遺した文化財の保存活用や、芸術文化の振興、社会教育の充実などによって心のふるさとをとりもどす、人間性回復が強く望まれるようになって来ました。

そこで文化課では、役所の施策面で資金も出しますがその他に県民のみなさんに「ああしろ、こうしろ」というよりも、役所では手続きだけして、民間の人々の自発的な芽を育てるために寄付行為の具体案がでたのです。兵庫県は、全国で六番目に多く重要文化財を保持しているのですが、野ざらしの文化財が非常に多く、また文化財に指定されていないけれど立派な社寺、仏像などがあるのですよ。またその他に街角にある地蔵さんや、民芸、民謡など、遺し保持してゆかねばならないものが多いと思います。また新しい芸術活動、社会教育の振興と啓発や、事業への援助のために県民の皆さんにもご協力いただきたいのです。兵庫県の出資金は二億円、寄付金の予定額は二億円。来年の四月から具体化してアピールしてゆき、県政百年、開港百年の文化事業にしてゆきたいのです。

議会政治により政治はのび、また経済成長ものびましたが、どうも文化面がとりのこされているようです。やはり政治・経済・文化三本の柱がガッチリたたねばなりません。だから、社会文化協会を設立することによってしいたげられてきた文化面に暖たかい息づかいをさせて県民の人間性回復と向上に役立つようにさせたいと思います」

随想 三題



カットは 赤根あゆこ

「丘の上のモミの木」

赤根待帆 まつほ

リビングデザイン

もう間もなく街にはジングルベルの曲が響きわたるでしょうが、この曲を聞くと誰も彼も何とはなしにセカセカとこぼしりに歩いてしまいます。よく考えて見ると格別に私などそれほどにあわたたしいことがあるわけではないのにと苦笑してしまうのですが、あの「ジングルベル」は年末への行進曲のように思えて、聖なる夜のクリスマスなぞ飛び越して年末のしめ

くくりに想いをわずらわされてしまいます。

「ジングルベル」はわたしたちの胸に楽しい想いを湧き立たせてくれるような曲ではなく、なってしまうが、同じクリスマスの歌で「丘の上のモミの木」というのがあります。これは私の大好きな歌のひとつなのです。

「丘の上のモミの木は

だーあれもしらない

クリスマスツリー

クリスマスツリー」

人ひとりいない暗い丘の上にひつそりと梢に星をかかえて高だかどそびえ立っているモミの木を想像します。お家にクリスマスツリ

ーをかざってもらえない子供たちのために、神さまがすばらしいすばらしいツリーをおつと丘の上を立てて下さっているように想えてなりません。

神戸には大きな楠の木がたくさんありますが、この楠の木はすばらしいクリスマスツリーだと私は思っております。

まだ子供たちが幼い頃、主人がヨーロッパの長旅のあとすぐまた留守になってしまった時、ひっそりとしたクリスマスを過したことがありましたが、夜中ふと窓の外に目をやると、そこにそれはすばらしいツリーを見つけ思わずにいきをつきました。

それは窓の外にはえていた大きな楠の木がたくさんの葉一枚一枚にキラキラと月の光を浴びて風にまたたいている姿はまるで飾りをいっぱいにつけた金色のツリーを連想させられました。

丘の上のモミの木のように、だれもしらないクリスマスツリーを夜中にひとりみつけて、あんなにすばらしいイブをすごしたことはありません。

そして神戸とはなんとすばらしいところかしらとつくづく思ったことでした。

クリスマスでもない私がクリスマスをするのはおかしいのですが、たくさんの幼い子供たちのために、そして不幸な子供たちのために愛の日であるようにしたいと想っています。

世の中には幸せにせよ、不幸にせよ、たくさんの子供たちがいますが、その全部に私たちの手とどくはずはないのですけれど、ひとりひとりの大人が自分の身じかにいる何人かの子供たちに愛の手をさしのべることが出来たら愛の手からもれる子供がないのではないかしらなどと思ったりします。

キリスト教国ではない日本のひとびとの生活のなかに宗教的な感情をぬぎにした変な私たちでクリスマスがすっかり入りこんでしま

いましたが、外来のものをすっかり自分のものに同化してしまうことの上手な日本人にとっては、それはそれでまた生かしてゆく道がありそうに思えます。子供たちを中心にした温かい人間愛をお互いに自覚し、自分の心のなかにある「神」つまり「愛」をお互いに改めて確かめあう、年に一度の機会と考えたい、と私は思っているのです。

ひと頃のようにバーダのキャブレードので三角帽子をかぶってお酒を呑み歩く男性たちの姿も、ちか頃では大分少なくなつて、家でクリスマスを送ることが多くなつたことは喜ばしいことですが常に家庭だんらんのひとつとき、というよりはもっと積極的に敬虔な思いでひろく人間愛を分けあうことを考える日にしたいものと思うのです。

クリスマスマスの季節になつて、「丘の上のモミの木」をひとり口ずさむ時日常のことに忙殺されがちな私の胸に、こんな敬虔な思いをよみがえらせてくれるのです。

コトバなんて 何だ

織田正吉

放送作家ハカットも

外国を駆け足で旅行することになったとき、まさきき心配したのはコトバだった。旅の前半は英語の達者な人がついてくれるので安心だが、途中で別れて一人旅になる。学校で十何年か英語は習っているはずだが、古い英語教育の欠陥というやつで、話す方はまったく自信がない。どうしよう、どうしようと思ひ悩んでいるうちにどんだん日が過ぎていった。

一夜あければとたんに外国語ベラベラと、そんなわけにはいかないものだろうか。それがあります。睡眠学習というあれだ。熟睡しているとき、枕もとで暗示のレコードをかけると寝小便などピタリと治るといふ。英会話のレッスンをすると、寝てる間にたちまち上達。これこれ。さっそくナショナルのタイムスイッチを買つてきて英会話のテープを枕もとに装置し、いそいそと床についた。

さて、深夜、仕掛け時刻がきてテープが英会話をはじめると、パチッ目目がさめてしまうではありませんか。それではちよつと約束が違う。が、枕もとで何かしゃべっているのに、おとなしく寝ていられる方がどうかしているのかも知れない。

「グッド・モーニング……グッド・モーニング・ミスター・スミ

ス。ハウ・アー・ユー……」

丑満どきにグッド・モーニング
といっている機械を眺めているう
ちに、あほらしくなり、ええい、
どうともなれ、という気になっ
た。そして、どうともなったので
ある。

アメリカへ渡ったら、すぐに道
をたずねる練習を始めた。地理を

ドーマア野原珍といは
アイズクリムを食べると
珍といはははは美味也
アイズクリムは美味也



のみこんだ町角で、誰れかれなし
に道をきく。ベラベラとやられる
と半分もわからないが、なに、こ
ちらは先刻答えはわかつているの
だから大丈夫だ。たまに親切な人
がいて、ゆっくり噛んでふくめる
ように言ってくれる。こういう人
には、迷惑のかけついでにもうす
こしいろいろ話しかけることにす

る。

現地主義の武者修業で十日もす
ると、荒っぽいがまずまず日常の
用は足せるくらいになる。それに
しても、アメリカ人は、人間は誰
でも当然アメリカ語を話すべきだ
と考えているらしい。たいてい情
容赦もなくベラベラと来る。しか
し、イタリアあたりで、立ちん坊
の土産物売りが、日本語で

「カメオ、トーキーヨー千円。」

「買ッテクダサイ」

などとやっているのを聞くよりは
まだしもだ。しつこくつけまとう
のを断ったら、うしろから

「ゴリラ、ゴリラ」

とぬかす。

「何を！ゴリラだど？」

怒ってふりかえったら、敵はキョ
トンとして、カラスライドを見
せ、

「ローマ、ゴリラ」

5リラといているのであった。
多分五百リラというつもりだろう
そこで私は、

「おかしなところで日本語を使うな
そこはスパッとイタリア語でやっ
てくれや」

と、もちろんこれは日本語で言っ
たのである。

入口に日本語で「日本の皆様よ
うこそ」などと書いてある店は、
何かだまされそうな気がして敬遠

してしまふ。日本語の上手すぎる
外人が何か気味がわるいものと同じ
だ。逆の場合、外人はやはりそう
思うに違いない。と、そう考えた
ら、いよいよ気がらくになり、ブ
ロークン英語、ブロークン仏蘭西
語、ブロークン伊太利語を現地で
習いながら、割に大きな顔をして
歩くことができた。習うよりは慣
れる。コトバなんて生れたての赤
ん坊でさえ三年すれば話せるよう
になるではないか。

ソビエト

みたまま

戸塚 敏

服飾デザイナー

新潟を出港した船は、一路ナホ
トカ目指して船足を早めます。ナ
ホトカからはシベリア鉄道でハバ
ロスクへ。汽車の中は一室四人の
コンパメントになっており、日本
と違って寝台車は一日中寝台が作
られたままになっています。食堂
車ではソ連名物の数の子、イクラ
キャビアなどがふんだんに出され
ソ連にきたのだという感じを深め
ました。

日ソ親善協会の文化交流使節京
都グループとして、三週間の訪ソ
の旅にのぼったのは女性ばかり七

人。それぞれ手芸・洋裁・児童心理などを専攻しています。私はデザインナーとしてグループに参加し十二単衣や染織技術の工程図などを、各地で展示、説明を行ないました。ハバロスクからモスクワ・レニングラードをまわりながら、各地で既製服工場・木綿をつくる工場・チョコレート工場などの工



★モスクワ郊外の回教寺院と戸塚さん

場見学や、ビオネールとよばれる子供の施設の訪問など楽しく有意義な旅で、通訳の人がずつとつききりて面倒をみて下さり、また片山潜氏の娘さんが親切によくお世話をしてくださったものです。

観光かぶれをしているヨーロッパとはちがって、すれていない人が多く、チップも不用で以前にヨ

ロッパに行ったときに感じたチップのわずらわしさがなかったのも、好印象。

街なみも道路が広くてゴミひとつ落ちていず、レーニンや国家の功労者、宇宙飛行士などの写真が大きく掲げてあるのが目に残っています。

ソ連の人は親切で人なつこく汽車を待つて駅にいと、寄つてきていろいろと話しかけ、汽車が出るまで一時間ばかりも寒い駅頭に立って見送ってくれました。

また、ブレゼントの交換が大好きで、ブレリンに交際し、日本人にしばしば見られる島国根性が無いのがおおらかな感じでした。

ボルシチなどの油をたっぷり使ったボリュームのある食事のせいか体格もがっちりとしていて、殊に婦人の堂々たる体軀には小さな私など圧倒されてしまいました。

もっとも、私たちが訪れたのは八月中旬の日本では暑いさかりのころなのに、ソ連では早くも冷たい風に驚ろかされ、冬の厳しい寒さを思いやり、なるほどこの氣候に耐えてゆくには、やはりこのボリュームが必要なのだなあ、と納得いたしました。そして、その大きな身体でゼスチュアをいれながら実によくしゃべります。何人かが集まると必らず演説がはじまり

自分が働いている工場の自慢から

「自分はレーニン勲章をもらった

」「いや、自分は……」と、自慢

話にも花を咲かせ、外国人相手には宇宙飛行士の自慢、社会主義体制のすぐれたところ、アメリカ帝國主義の非難、ベトナム問題と広がりを見せますが、政治的な話題になると内容は限られて、言論の自由はあまりないような印象です

一般の生活はかなり豊かで日用品も豊富に出まわっています。日本なら二・三百円で買えるビニールのレインコートが二・三千円もするなど値段は高いようです。服装も色どりゆたかに、女性はおシャレにもかなり気を使っているようです。女心に国境はないものと楽しくなりました。ソ連の百貨店は国営のせいかサービスはわるく、売り場の係りは自分の持ち場を動かさず、隣がどんなに混んでいても知らん顔で、客の方も慣れたもの、順番を待つています。役所仕事にも国境はない、というところでしょうか。

三週間のソ連旅行の間、直接ソ連の人たちと話をすることができたら、もつと深くその生活もうかがい知れるし、どんなに素敵なことかと感じ、外国旅行では、言葉がなにより大切だと思ったことでした。

今から80年前、キリスト教伝道の拠点として、この神戸の地に、ランバス博士によって教会が建てられ、日本メソジスト神戸中央教会として明治、大正、昭和と3代にわたり、キリストの証しをなしてきました。

昭和17年5月17日、日本基督教

団設立により、神戸栄光教会と改称、現在に至っている。明治から大正初めにかけては、信徒有志による合唱が行われており、大正の中頃（7年頃）には関西学院グリークラブが礼拝の合唱をした時期もありました。大正8年頃より聖歌隊の呼称が用いられるようになった。

このような信仰と合唱の伝統を守りながら、メンバーの変遷を経て、少しずつ新陳代謝はありますが定着したメンバーを中心に清水隊長の指揮の下、練習と讃美を続けています。毎日曜、礼拝の前および後の練習、木曜日午後7時から8時30分までの個別練習を行っています。

☆ある集い
その足あと

信仰の遺産を伝える 聖歌隊の歩みを つづけたい

高宮隆俊
神戸栄光教会聖歌隊
マネージャー



り熱心なキリスト教徒の有志によって結成されてきました。

教会の発展とともに、聖歌隊もその歩みを続け、昭和22年には、もとの神戸中央教会聖歌隊員を中心として、中村仁策氏により神戸中央合唱団が創立され、合唱界に

活躍していることは周知のことです。これより1年前（昭和21年）、これも栄光教会会員の有志

が、当時教会に来ていた北村信雄氏を中心に合唱グループを作り、発展し、昨今20周年を迎えた土曜会合唱団になりました。

平素は讃美歌を、受難週、復活節、ペンテコステ、秋の伝道、讃美礼拝、クリスマスなどには毎年パッサ、ジュッツなど、主にドイツ古典プロテスタント合唱曲を選び、礼拝讃美を行なっています。西欧諸国のキリスト教音楽の伝統には遠くおよばないが、神戸において、次の世代に遺すべき、日本に定着したキリスト教の信仰の遺産を伝えるもの、として聖歌隊の歩みを続けて行きたいのです。

「わたしは生けるかぎりには主をほめたたえ、ながらえる間は、わが神をほめうたおう」

（詩篇135：3）

グラビア七頁参照

★楽しいクリスマスには今年も〈ヒロタ〉のクリスマスケーキを！



洋菓子のヒロタ

本社工場／尼崎市今小路北小袋29
〈神戸〉 元町店・三宮秀品店・さんちか スイーツタウン
〈大阪〉 新大阪駅前・富国店・大阪駅東口店・梅新店・ワメダ店
心斎橋・祝橋店・ナンバ店・天王寺店・天満店・塚本店・豊中店
尼崎店・守口店・淡路店

深海の底に
白く咲いた
サンゴの華
さんごとカメオの
ノミヤマの
すぐれた技術が
彫りあげた
美しい品々が
クリスマスの
あなたを飾ります



nomiyama さんごとカメオ専門店



神戸国際会館アーケード TEL (22)8161 (内線)333
本社工場
神戸市葺合区上筒井通1ノ20 TEL (22) 2070



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店 / 三宮センター街・電話 33-8836 (代)

東店 / 三宮センター街・電話 33-0629

三宮店 / 三宮地下街・電話 39-4303

東京

新橋店 / 新橋2丁目・電話 571-0807

銀座店 / 京阪神銀座タウン・電話 572-4847 (直)
(西銀座7丁目・並木通)



paris fashion & ginza mode

Beniya

KOBE: SANNOMIYA

婦人服飾 **ベニヤ**

三宮センター街 PHONE 39: 5528~9

さんちか(レディースタウン) PHONE 39: 1204

の中之島辺りで憶えているガス灯が、青白く光っていたのである。なんだかゲオルグ・カイゼルの舞台の人物になったような気がした。この区域を抜けて北へ北へと道を取ったところ、板宿に出てしまった。

東京では一度、あれは大正十年頃の話であったが、宮城うらの英国公使館の辺りを電車で通っていた時、雨の中に数本のガス灯が立って、それぞれを落ちてゐる雨つぶを光らせていたのをうつくしいと見た憶えがある。

私の「一千一秒物語」は、だいたいとして神戸三宮の山手の夜の気分醗酵している。私は関西学院中学部を出て上京に至るまでの数年間、毎晩のように平野方面へ遊びに行き、真夜中すぎに友だちと共に、時に泥酔状態で、時には生殺しの半酔で、あの辺りを通って帰ってくるならいであつたからだ。一千一秒物語の照明装置にもやはりガス灯が用いられている。これもその方が効果的だと考えたからで、たとえ室内灯としてもガス・ライトなど姿を消していた筈だ。

そのご、友だちが豆ガス灯を持っていた。どうしたのかときくと、商店の飾窓の中に見付けて無理にゆずって貰ったのだと云う。なるほど自分も飾窓のすみにそれを見たことがあつた。子供のおもちゃではなく、商業用に作られたものだったわけだ。これは青い豆電球で光らせるが、机の上において、部屋のあかりを消すと、眼の前が公園のように思われてきて、愛人同志の会話の行きづまりなんか直ちに解決がつくそうであつた。この友人は小説をかいていたので、彼も営業用にこのお

もちゃガス灯を買入れたことになる。

小さなガス灯は私のものになったが、自分は別に豆電球や電池を用意したわけでない。それは近所の喫茶店の女の子にくれてやった。彼女はクリスマス晩に、このガス灯をスタンドの上に置いて、あとは明りをみんな消して、みんなの喝采を博したということだ。

先の一干一秒物語の中に、「ガス灯と格闘した話」がはいっている。

それから四十五年が経って、この数年前のテレビ「世界のサーカス」の中に、本当にシルクハットに燕尾服の紳士がガス灯と格闘を演ずる番組が出てきた。

スウェーデンのスコット・サーカスだと思ふ。座員のチャーリーさんは、三十五年前のある夜、酔払つての帰途に、シガアの火を借りようとしてガス灯によじ登つたのがきっかけになって、この新芸当を考案したのだということであつた。彼は、大天幕の内部に仕つらえた、高い、くねくねするガス灯のてっぺんで、ハラハラヒヤヒヤする演技を見せるのである。

こんど三宮ライオンズクラブと神戸市との協力で、大丸前に懐かしのガス灯が立ち夜々に光ることになったとは、何という有難いことであろう。港祭のようなバカげた催しにくらべて、こんなところこそ真の神戸文化というものである。

八作 家